



第10回 RELO CLUB全日本企業対抗ゴルフトーナメント
『じゃらんゴルフCUPダブルス 2014』
関東C日程地区予選大会 競技規則

開催日：2014年2月15日（土）
会場：武蔵丘ゴルフコース

企画／運営：SCORENET

1. ゴルフ規則
日本ゴルフ協会（JGA）ゴルフ規則2014を適用する。
カップインまでOKパット無しのノータッチ。6インチブレースも無しとする。
2. 競技委員会の裁定
競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について競技委員会の裁定を最終とする。
3. ラウンド中に使用する球についての規則
本競技ではワンボール条件は適用しないものとする。
4. 移動
各競技者はラウンド中、乗用カートに乗車することができるものとする。
5. ホールとホールの間での練習禁止
ホールとホールの間では、競技者はプレーを終えたばかりのホールのグリーン上や、その近くではどのような練習ストロークもしてはならない。この条件の違反の罰は、次のホールに2打課せられ最終ホールにおいてはそのホールに2打課せられる。
（前半と後半のインターバル時での指定練習グリーンでのパッティング練習を除く）
6. 険悪な気象条件・日没などのため競技が中止になった場合
競技中止の時点で全チームが9ホールズを消化していれば、競技成立。
消化していなければ競技不成立とする。尚、9ホールズでの競技成立の場合はアウトスタートインスタートに分けて、それぞれの9ホールのスコアが最小のチームを1位チームとする。
タイスコアが生じた場合は、アウトスタートは9番から、インスタートは18番からのカウントバックにより順位を決定する。
7. タイスコアの場合
18ホールズ終了後、チームスコアが同じ場合はアウト・インどちらのスタートにもかかわらず18番ホールからのカウントバックにより順位を決定する。
なお、上位チームには同大会のダブルス2015決勝大会への出場権が与えられる。
（有資格チームを除く）
8. アドバイス
プレーヤーは同じチーム内のパートナー及びキャディからアドバイスを受けることができる。
なお他のチームのプレーヤーにアドバイスを与えたり、アドバイスを求めたりした場合にはJGAゴルフ規則第8条によりそのホール2罰打を付加する。

9. パートナーについて
自チームのパートナーはプレーヤーサイドの者とし、パートナー自身またはパートナーの所持品にボールが当たった場合は、自分自身の場合と同様に規則19-2により1罰打が課せられる。
10. 処置について
疑問のある場合は1ホールのプレー中に競技者が自分の権利やとるべき処置について問題をもった場合、その競技者は罰なしに第2の球をプレーすることができる。第2の球を打つ行動を起こす前に競技者は規則により許されれば、その球でのスコアを採用したいと思う球をマーカーに告げておくこと。どちらの球のスコアも同じであった場合を除き、競技者はスコアカードを提出する前にその事実を報告しなければならない。
※第2の球の処置をした場合は2つのスコアを記入し、スコアカード提出時に大会事務局の裁定をおおぐこと。
11. 空き時間の練習について
昼食時の空き時間において、練習グリーンでのパッティング練習は行っても構わない。
12. メンバー変更について
ダブルス2014の決勝大会出場権を得た場合のメンバー変更は本予選会と同じメンバーが望ましいが1名までの変更は可能とする。

《ゴルフ場ローカルルールで適応するルール》

1. コース内における**縞杭はOB扱い**とする。
縞杭の区域内に球が行ったと思われる場合は暫定球を打たなければならない。
(※特設ティがあるホールに関しては暫定球を打つ必要はない。)
2. OBは白杭、修理地は青杭または白線をもって標示する。
3. コース内の池はすべてラテラルウォーターハザードとし、赤杭をもってその限界を標示する。
4. No.1～No.7とNo.10、No.11、No.13番ホールにおいて第1打がOBの場合は、**特設ティより罰打2を加えてドロップしてプレーしなければならない。**
5. No.15ホールにおいて球が池に入った場合は、特設ティより罰打1を加えて**ドロップしてプレーしなければならない。**
※No.17ホールにおいて、池に入った場合はラテラルウォーターハザードの処置をとる。
6. コース内の樹木支柱、舗装道路、カート道路、その他人工施設物は動かさない障害物とする。
但し、カート用の2本の軌道は、全幅をもってカート道路とみなし、そこに球が止まった場合は、障害物としての救済を受けなければならない。また、残りの距離を示す表示板は動かせる障害物とする。
7. 目的外のグリーン（カラーを含む）は、プレー禁止の修理地とし、その上に球があったり、スタンスがかかる場合、ゴルフ規則25-1b (i) を適用しなければならない。

※上記以外はJ.G.A規則に従い臨時ローカルルールはクラブハウス内に掲示する。

《競技方法》

1. 18ホールズフォアボール（各ホール、チーム内の良い方のスコアを採用）
ストロークプレーによって行う。
2. ティショットは前ホールのチームスコアの良いチームから行う。
その際チーム内で打順の変更は可能とする。
スタートホールのティショットに関してはスタート表どおりの順番でプレーする。
但し女性のいるチームに関してはその限りではない。
男性と女性とのティ位置が離れている場合は、安全上男性が先に打つこととする。
※マッチプレーではないので、順番の誤りにてのペナルティはない。
3. 原則として遠球先打でプレーする。
4. 男性は**バックティ（青）**・女性は**レディースティ（赤）**を使用する。

《競技上の注意事項》

1. 集合
スタート時間の10分前に所定の場所にてアテストシートの配布、ルールの説明を行う。
スタート時刻に遅れた場合は失格というケースもあり、スタート説明を受けずにスタートすることはできない。
2. マナー
本大会では**プレーファーストを提唱しており、来場中及びプレー中は、企業に所属する社会人としての服装・マナーを遵守すると共に、スロープレーには十分注意しなければならない。**
前組との間隔を1ホール以上空けることのないよう注意すること。
特別な理由がなく前組との間隔が1ホール以上空いた場合には、ペナルティを課すことがあります。
（プレー時間目安：2時間15分以内）
3. 暫定球
OBや球の紛失の可能性のある場合には必ず暫定球の処置を行うこと。
※特設ティがあるホールでのティショットOBの場合を除く。
4. アテスト
スタート説明を行う際に大会用スコアカードを配布する。
各選手はマーカースコアをスコアカードに記入すること。競技終了後、マーカースコアカードを交換し、各ホールのチームのスコア、チーム（2名分）及びマーカースコア（2名分）の署名が間違いなく記載されていることを確認の上、自分のスコアカードを提出すること。
スコアカードは遅延無く提出されなくてはならない。
大会当日の会場に最終成績が発表された時点で、そのチームのスコアカードを受理したものとし、それ以降はいかなる訂正・変更も認めないものとする。



雪によるルール補則



雪はプレーヤーの選択でカジュアルウォーターかルースインペディメントとして扱うことができる。(定義 12 及び定義 32)

- ◆ カジュアルウォーター（雪）からの障害
球が雪の中にあるか、雪に隣接されている場合及び、スタンスや意図するスイングの妨げになる場合、障害が生じたという。(規則 25-1a)

- ◆ カジュアルウォーター（雪）からの救済
罰なしで、ホールに近づかず、雪の障害を避けられる場所で、その球に一番近い場所（ニアレスポイント）からワンクラブレンジス以内にドロップすることができる。
もしも、球がバンカー内にある場合は、バンカー内にドロップすること。
(規則 25-1 b)

- ◆ カジュアルウォーター（雪）での紛失球
球が雪の中に入ったことが分かっているか、ほぼ確実の場合は罰なしで、その雪のゾーンの外側を最後に横切った地点にあったものとみなし、上記の救済を受けることができる。(規則 25-1 c)
雪の中に入ったかどうか分からない場合はロストボールと同様の扱いとなる。
(規則 27-1)

- ◆ ルースインペディメントの処置
ルースインペディメントとは、石や木の葉や木の枝のことで、プレーの邪魔になれば取り除くことができる。
雪のかけらや溶けきれずに氷の球になったものもルースインペディメントとして扱うことができ、罰なしで取り除くことができる。(定義 32)



Musashigaoka Golf Course



以上